

北浜コミュニティセンターだより

きたはま

令和4年
12月号
No.62

発行：
北浜コミュニティセンター
TEL 66-0002 FAX 66-0016

北浜地区の人口 (R, 4, 11, 30)

世帯数	男	女	合計
390	476	487	963
(昨年同月比) △4	△16	△20	△36

令和4年度 北浜地区文化祭

令和元年11月2日に北浜小学校を会場として開催して以来、
実に3年ぶりとなる北浜地区文化祭（作品展示）を旧JAしまね
北浜店会議室において、11月5日（土）に開催しました。

当日は、早朝からあいにくの雨で、足元の悪い環境、また、開
催時間も午前中の3時間に短縮した開催でしたが、地区内外から
総勢112名の方にお出かけいただきました。



イベント・活動紹介

9月
12月

運営委員会・事業委員会・

専門部会合同視察研修

今年度の合同研修会は、十月八日(土)に行いました。

今回の参加者は二十名で、奥出雲町を中心とする視察コースで、奥出雲舞茸直売所(舞茸工場見学)、延命水、道の駅奥出雲おろちループ、絲原記念館、道の駅酒造奥出雲交流館を訪問しました。



自主企画事業

風力発電勉強会

●十月十三日(木)●

文化環境部自主企画事業として、北浜地区内で風車二十基が稼働している風力発電事業について、株式会社ユーラスエナジーホールディングス諏訪部哲也取締役及び株式会社ユーラステクニカルサービス島根営業所(合同会社新出雲ウインドファーム)林宏樹副事業所長からユーラスエナジーに関すること、風力発電の現状としくみ等について、十六島風車公園管理棟で説明を受けました。また、一号機に入って、内部の構造等を見学することもできました。大変貴重な経験をさせていただきました。参加者は、十二名でした。



認知症研修会（塩津会場）



健康福祉部自主企画事業として、十月十九日（水）午後六時三十分から塩津漁民センターにおいて、黒松基子さんを講師にお迎えして、テーマ「接し方と近所の支え合い」でお話をしていただきました。参加者は、十六名でした。

森林セラピー



健康福祉部自主企画事業として、十一月十三日（日）に、飯南町の「森林セラピーロード」をウォーキングしました。雨上がりでマイナスイオンなどセラピー効果の高い環境であり、また、ピークを迎えた紅葉も同時に楽しむことができました。参加者は、十六名でした。



許豆神社めぐり

文化環境部自主企画事業として、十一月二十二日（火）に北浜地区内にある「許豆神社」五社すべてをめぐる内容で、宍道年弘荒神谷博物館企画監を講師にお迎えして実施しました。

もとより、「出雲国風土記」楯縫郡には、北浜地区の許豆社が五社記載されており、そのうち、律令政府公認の神祇官社が二社（小津南の宮、小津北の宮）、出雲国司公認の国社が三社（相代、小津灘の宮、十六島稻荷神社）となつていますが、宍道さんの解説と実際に現地確認することで地域の深い歴史に触れることができました。参加者は、九名でした。



北浜小学校との交流

◆北浜小一・二年生 生活科「町探検」

北浜小学校の一・二年生の七人と教職員二人の計九人が九月十五日（木）午前に来訪されました。事前に提出されていた質問五件について、センタ―長から回答する形で進められました。地域で働いている人々の様子をすることを主眼とする授業で、コミセンのほか五箇所を四日間に分けて実施されました。

◆北浜ぼうけん隊

世代間交流事業の一環として、北浜小学校と北浜地区がタイアップしての北浜ぼうけん隊は、十月十二日（水）に、小津区と相代区が対象となつて実施されました。そのうち、北浜コミュニティセンターでは、小津ウォークラリーのチェックポイントとして、児童がそれぞれ四グループに分かれて、各グループの全員がセンタ―長に勝つまでジャンケンを続けるという義務が課されていました。しかし、児童は、要領よく勝利を収めました。

AED設置

昨年の四月二十日に、現在の旧JASしまね北浜店へ北浜コミュニティセンターが移転して以来、「AED」は未設置状態でしたが、十一月二十一日（月）に市から新しい機器を設置していただきました。使つ機会がないことの方が望ましいですが、それでも、いざという時のために、配備されていることをこの場を借りてお知らせいたします。



北浜地区交通安全対策自治会

交通安全立哨活動



秋の全国交通安全運動（九月二十一日～三十日）にあわせ、北浜地区交通安全対策自治会主催により、九月二十七日（火）朝の通勤時間帯（七時三十分から）に、小津二差路から北浜小学校までの間において、横断幕、のぼりを掲げて、安全運転を促しました。参加者は、十六名でした。また、北浜小学校全児童に対して、交通安全に関する啓発品（反射材キーホルダー等）の贈呈を行いました。



高齢者の交通安全講習会



北浜地区交通安全対策自治会事業として、十月の三日間、地区内の四名の方に「ドライブレコーダー」を取り付けて運転した映像を旧JASしまね北浜店和室で、

十一月十日（木）に再現して、出雲高等自動車教習所の指導員から指摘、忠告等を受けました。また、地区内の危険箇所での安全運転についての心がけ等についても指導、助言いただきました。参加者は、十五名でした。



北浜地区体育協会

北浜地区第一回 グラウンドゴルフ大会

北浜地区体育協会主催によるグラウンドゴルフ大会が地区民体育祭の中止に伴う代替行事として、九月二十五日(日) 午前八時三十分から北浜小学校校庭において、合計三十二名の参加者により開催されました。



※大会結果

優勝 南木正人さん(十六島)
2位 樋野武年さん(多井)
3位 渡部 昇さん(多井)

北浜地区第二回 グラウンドゴルフ大会

九月二十五日(日)に開催してからまだ一か月しか経過していない中、北浜地区体育協会主催の第二回目となるグラウンドゴルフ大会が十月三十日(日) 午前八時三十分から北浜小学校校庭において、合計三十三名の参加者により開催されました。



※大会結果

優勝 南木正人さん(十六島)
2位 渡部 昇さん(多井)
3位 小池 真さん(多井)

地区対抗 ソフトバレーボール大会

新型コロナウイルスの感染拡大等の煽りを受けて、ここ近年開催を見送られていた北浜地区体育協会主催のソフトバレーボール大会が十一月二十七日(日) 午前八時から実に三年ぶりに北浜小学校体育館で、合計四十三名の参加者により開催されました。六チーム参加による変則リーグ戦を経て、順位決定戦を行い、左記の結果でした。



※大会結果

優勝 小津・相代・塩津・美保合同Bチーム
2位 多井・釜浦Aチーム
3位 十六島Aチーム

民生委員児童委員 及び主任児童委員の交代

三年を一期とする民生委員児童委員及び主任児童委員の任期が本年十一月三十日をもって満了となることから、一斉改選に向けて地区内で推薦手続きを進めた結果、次の方々が委嘱されました。

【民生委員児童委員】

区	新	旧
相代	常松 富広（新任）	川瀬 孝子（連絡員三年歴任）
小津	小村 修（再任…経験年数六年）	—
多井	樋野 正治（新任）	渡部 清二（三年歴任）
十六島	渡部 享次（新任）	南木 正人（九年歴任）
釜浦	岡 光夫（再任…経験年数十五年）	—
塩津	川谷 吉正（再任…経験年数三十年）	—
美保	佐藤 康治（再任…経験年数六年）	—

【主任児童委員】

担当区域	新	旧
北浜地区一円	渡部かめ子（新任）	福間 里美（六年歴任） 佐藤佳世子（六年歴任）

今期から、地区別定数は、民生児童委員が六名から七名に、主任児童委員が二名から一名に変更となりました。

今般、ご勇退される五名の皆さまに感謝のことを申しあげます。また、新任及び再任の皆さまには、どうぞよろしくお願い申し上げます。

令和四年度 出雲市自治会役員感謝状贈呈式

十一月十一日（金）に出雲市役所において、「出雲市感謝状贈呈要綱」の規定及び「出雲市自治会連合会」の方針に基づき、渡部邦男前自治協会展長及び松村正利同副会長（当日はご都合がつかないため欠席）が飯塚出雲市長から感謝状を受けられました。

渡部さんは通算九年、松村さんは通算十二年の長きにわたり、北浜地区の自治振興にご尽力いただきました。ありがとうございました。

令和4年度
出雲市自治会役員感謝状贈呈式



北浜地区社会福祉協議会

◎認知症研修会

十月十九日(水)の塩津会場で開催してから、ちょうど一か月後になる十一月十九日(土) 午前十時から旧J・Aしほね北浜店会議室において、



七月十五日(金)の福祉委員を対象とする認知症研修会においても講師をしていただいた川谷美佐子さんにお話をしていたいただきました。参加者は、十三名でした。

◎釜浦区出前サロン



定例、定期的にサロンを開催する他の区とは異なり、釜浦区は年一回の出前形式での開催となっています。今回は、十月十八日(火)

午前十時から小島集会所において、曾田恵美子さんを講師にお迎えして、健康体操、茶話会が実施されました。参加者は、二十名でした。

◎子育てサロン「はまっこひろば」

「北浜地区健康づくり推進員」の主催で、「こどもの「食」を育てる」と講座と交流会」を目的、内容とする「はまっこひろば」が十月二日(日) 午前十時から多井ふれあいセンターを会場として三年ぶりに開催されました。



地域活動栄養士の吉田佳奈さんを講師に迎え、三家族、親子九名と五名のスタッフにより、おやつ調理見学、絵本読み聞かせ、講座、試食としておやつを持ち帰り等が実施されました。

ご寄付

ご寄付ありがとうございました。

令和四年九月九日から令和四年十二月一日まで

【香典返し】

川谷 喜美子様(故 喜美子様) ※同姓同名
渡部 清二様(故 京子様)
梶野 秀明様(故 文余様)
渡部 透様(故 秋由様)



つばき



第 14 号

北 浜 地 区
人 権 尊 重 の
ま ち づ くり
推 進 協 議 会



北浜地区人権尊重のまちづくり推進協議会

会 長 山 根 幸 徳

この四月から、前渡部邦男会長の後任として就任いたしました。当会の会長をお受けすることになり、責任の重大さを感じております。皆様のご鞭撻を賜りながら、一緒に勉強して人権を尊重し、明るく住みよい地区の推進に努めてまいりますのでよろしくお願い申し上げます。

さて、去る八月二十日（土）に出雲市同和教育講演会が開催され、出席いたしました。その演題は、『ありのままの私を生きるために』で、講師は土肥いつきさんでした。ご自身の性的マイノリティや、子ども達のジェンダー交流会を主催したお話を拝聴しました。

人権とは「誰でも人として尊重され、それぞれにふさわしい環境の下で人間らしく生きる権利」のことです。SDGSには十七の目標があり、そのベースにあるのが「誰一人取り残さない」、つまり人権尊重の考え方です。前文では「すべての人々の人権を実現し、ジェンダー平等と、すべての女性と女児の能力強化を達成する事を目指す」と述べてあります。また、SDGSの目標5「ジェンダー平等を実現しよう」では、世界中のあらゆる面で性別に起因する差別や不平等、固定的な役割分担が存在しています。「男だから」「女だから」と社会的、文化的に規定された男性と女性の概念がジェンダーです。ジェンダー平等を実現するには、まず「男だから」「女だから」で当たり前に思っている事柄について疑問を持つところから始めましょう。

北浜地区の人権啓発活動としては、シトラスリボン啓発封筒の作成

と、十二月十七日（土）に北浜小学校児童を対象としたクリスマス会の開催があります。

シトラスリボン啓発封筒は、北浜小学校児童の皆さんから人権標語を募集し、力作ぞろいの中から優秀賞として二句を選び封筒に印刷したものです。

クリスマス会では、国際交流を目的として、児童がフィンランドの国について学ぶ機会になっております。

引き続き人権啓発活動に、ご理解ご協力をよろしくお願い申し上げます。

シトラスリボン啓発封筒は、コミュニティセンターから地域の皆さんにお便りを出す時に使用するものです。



北浜小学校児童 人権標語作品

★印が優秀賞

いじめはね だれもがされて いやなこと

ともだちと けんかをするの かなしいよ

やさしくされると いいきもち

いいことを 友だちにされたら うれしいな

友だちを いじめるのは やめようね

★「ありがとう」ことばにしよう だれにでも

まわり見て こまる友だち たすけたい

たすけあおう みんなといっしょ なかよくね

何にでも やさしくできる 心持ち

友達を 差別するのは やめようね

みんながルールを守ったら みんなが笑顔あふれる

みんなでいっしょに たすけあおう

★ほっとする あたたかい言葉 うれしいな

自分がされて いやなこと 人にやったらいけないよ

みんなもね 考えてみよう 相手の気持ち

「だいじょうぶ？」その一言で 落ち着く気持ち

あうそいは 人を傷つける 助け合おう

悪い事 必ず自分に かえってくる

つないだ手 みんな「和」になる 仲間の輪

ぼくたちを やさしく見守る 地域の目

「助けて」と 言える関係 きずこうよ

〈隣保館まつり 地区入選作品〉

その習慣 時代とともに 変えようよ

一年	南木あかり	一年	錦織 藍
一年	樋野 葵	二年	梶谷 真生
二年	川瀬 心翔	二年	小林 大翔
二年	田中 悠翔	三年	小澤 芙弥
三年	樋野 京花	三年	川瀬 実心
四年	錦織 杏樹	四年	錦織 八雲
四年	樋野 翔太	五年	佐藤 ほか
五年	南木 つかさ	六年	落合 則晃
六年	錦織 璃寿	六年	橋本 琉斗
六年	樋野 煌太郎	六年	渡部 葉奈

十六島町 樋野三子さん

人権啓発キャッチコピー

「誰か」のこと じゃない。



人権イメージキャラクター
「AKENあまちゃん」

人権イメージキャラクター
「AKENあまちゃん」

第74回 人権週間

2022年 12月4日～10日

啓発活動強調事項

- 女性の人権を守ろう
- 子どもの人権を守ろう
- 高齢者の人権を守ろう
- 障害を理由とする偏見や差別をなくそう
- 部落差別(同和問題)を解消しよう
- アイヌの人々に対する偏見や差別をなくそう
- 外国人の人権を尊重しよう
- 感染症に関連する偏見や差別をなくそう
- ハンセン病患者・元患者やその家族に対する偏見や差別をなくそう
- 刑を終えて出所した人やその家族に対する偏見や差別をなくそう
- 犯罪被害者やその家族の人権に配慮しよう
- インターネット上の人権侵害をなくそう
- 北朝鮮当局による人権侵害問題に対する認識を深めよう
- ホームレスに対する偏見や差別をなくそう
- 性的指向及び性自認(性同一性)を理由とする偏見や差別をなくそう
- 人身取引をなくそう
- 震災等の災害に起因する偏見や差別をなくそう

平田四地区統合小学校の校名が決定！

本年四月一日(金)から五月三十一日(火)までの二か月間にわたって募集された平田四地区統合小学校(令和七年四月開校)の校名が「出雲市立旅伏(たぶし)小学校」に決定したことが、九月二十八日(水)開催の出雲市議会全員協議会場で報告されました。

応募総数は一四八件で、そのうち北浜地区からは、二十六件の応募がありました。

校名決定の理由は、「出雲国風土記にもゆかりがあり、古くから住民に親しまれてきた山の名を校名とすることで、身近にそびえる旅伏山に見守られ、子どもたちが伸び伸びと学び、やさしくたくましく成長できる学び舎となるようお願いを込めた。」となっています。

これにより、現在の北浜小学校の一年生から三年生までの児童は、卒業するまでに、「北浜」と「旅伏」の二つの学校名を経験することになります。



消防団員の募集

地域防災を支える消防団の団員減少は、全国的に加速化している状況のようです。総務省消防庁の調査によれば、令和三年四月時点の団員数は、全国で八十万五千人と前年から約一万四千人の減少で過去最少を更新したとのことです。過去最多であった昭和二十九年(一九五四)の二〇二万人と比較すれば六割減となっています。

ここ北浜地区においても、継続する人口減少が起因となつて、地区消防後援会及び北浜分団は、特に切迫した事態であると認識しておられます。また、平田地域においても同様の背景であることから、全消防団による「団員募集の横断幕掲示」を意思決定され、北浜地区では、十一月九日から十五日までの秋の火災予防週間に合わせて、北浜小学校の校庭フェンスに掲示されました。

なお、団員の応募資格は、年齢が十八歳以上で、出雲市内に在住、在勤、在学の方です。

募集に対して、地区民のみなさまの協力添えをどうぞよろしくお願いいたします。



あとかき

オリンピックと同じ四年に一度のサッカーワールドカップ。その四年周期の今年は、カタールにおいて、中東としては初の開催となりました。カタールといえば、一九九三年十月二十八日に起きたあの「ドーハの悲劇」の舞台国です。あれから、二十九年の年月を経て、日本は、今回七回目の出場を果たしましたが、またしても、ベスト十六の高い壁を破れませんでした。しかし、戦った四試合はいずれも素晴らしい試合で、心から感動しました。次回の四年後にさらなる飛躍を期待したいです。

ところで、同じく四年後といえば、令和八年であり、前年に閉校となった北浜小学校を改修して、北浜コミュニティセンターが入居、稼働しているはずですが、現在、具体的なレイアウトも含めた下話すら全く起きていない状況ですが、いずれ、地元の見解を斟酌しながら、改修計画が進めていかれることになると思われまふ。

地区内には、平成二十一年に結成された「北浜コミュニティセンター建設期成同盟会」が存在しています。この同盟会が中心となつて、夢のある北浜づくりに向けてのコミセン改修にご尽力いただきたいと今から念じます。

年末・年始の休館について

年末年始の休館につきましては、十二月二十九日(木)～翌年一月三日(火)までの六日間となります。仕事納めは十二月二十八日(水)、仕事始めは一月四日(水)となります。よろしく申し上げます。